

文協とちぎ

第3号

【編集発行】
栃木市文化活動協議会
住所：栃木市万町9番25号
栃木市教育委員会
生涯学習部文化課内
TEL: 0282-21-2496
FAX: 0282-21-2690

【題字】田中 曉亭 氏

栃木市文化活動協議会

設立五周年記念号



渡良瀬遊水地

【早春賦】 鯉沼 孝雄氏 (写団藤岡)

五周年記念号発行に際し



栃木市文化活動協議会

会長 大島 光男

当協議会は、旧1市5町の6支部、334団体、5800有余の会員で構成されており、平成25年7月1日「加盟する文化活動団体及び個人の活動を支援し、相互の連携強化と親睦融和を図るとともに、市民文化の振興に寄与すること」を目的に発足いたしました。

以後5年を経過、今般、本広報誌「文協とちぎ」第3号を「五周年記念号」として発行することになりました。発行にあたり、ご祝辞や玉稿を賜りました皆様に厚くお礼申し上げます。

さて、当協議会の最たる事業としては、「栃木市文化マイスターのつどい&栃木市文化活動協議会活動交流会」が挙げられます。今年度は、2月2日(土)～3日(日)の2日間にわたり、岩舟文化会館及び岩舟公民館を会場として開催いたします。多くの市民の皆様のご来場をお待ちしております。

当協議会は、これからも

「わたしが光り みんなで輝く
文化の息づく まちづくり」

を合言葉に、栃木市の文化振興に寄与することを目的に活動してまいります。会員の皆様はもとより、市民の皆様方のご支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、更なるご指導とご協力をお願い申し上げます。

お祝いのことば



栃木市
市長 大川 秀子

栃木市文化活動協議会が設立5周年という記念すべき年を迎えられ、ここに記念誌が発刊されることは誠に意義深く、心からお喜び申し上げます。

栃木市文化活動協議会におかれましては、各地域6支部の文化・芸術をこよなく愛する人々の大きな期待のもと、平成25年7月に設立されて以来、幅広い活動を通じて市民の文化・芸術活動の充実に多大な貢献をされていることに対し、心から感謝申し上げます。

さて、栃木市は、いにしえからの歴史と伝統により、優れた遺産や文化財、芸能等がたくさん残っており、文化芸術活動が各地域で盛んに行われております。

市といたしましては、市民の自主的な文化芸術活動が、さらに活発になるよう環境づくりを進めるとともに、市民が、より一層文化芸術に親しみ、楽しむことができるよう努め、文化の息づく『文教・文化都市』を目指して全力で取り組んでいるところでありますので、今後とも、貴文化活動協議会の皆様方には、なお一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、このたびの5周年を契機に、栃木市文化活動協議会の更なるご発展と会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます、お祝いのことばといたします。

設立五周年を祝して



栃木市教育委員会
教育長 青木 千津子

栃木市文化活動協議会が設立5周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

平成25年に設立されて以来、歴代役員の方々や関係者の皆さんが市民の文化活動推進の中核として活動され、また、本市の文化の振興・推進に多大なご支援・ご協力いただいておりますことに対しまして、深く敬意を表するとともに厚く感謝いたします。

さて、栃木市教育委員会では、2018年3月「栃木市教育計画 後期計画」を策定しました。

本計画では、文化の振興を図るため「文化団体等の育成・支援」を主な施策として、文化団体への活動支援、文化芸術の担い手などの育成、文化交流の促進を掲げております。その実現のため、文化団体の活動の継続や文化芸術活動の継承・発展団体間や地域間の相互交流を推進し、本市の文化振興・進展に取り組んでまいります。

栃木市文化活動協議会におかれましても、設立5周年という節目を迎えられ、これを契機に市民の文化教養の向上と振興、発展に一層寄与されますることを期待申し上げます。

結びに、栃木市文化活動協議会並びに加盟団体のますますの充実・発展と会員皆さん方のご健勝ご活躍を祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

設立五周年を迎えて



栃木市文化活動協議会
前会長 小山 幸一

栃木市文化活動協議会は、平成25年7月に設立され、私は、平成26年度から平成28年度まで会長を務めさせていただきました。

会員の皆様はもちろん、関係機関の皆様には、本協議会の運営に、多大なるご支援・ご協力を賜りましたことに対し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、本協議会は、栃木市、大平町、藤岡町、都賀町、西方町、岩舟町の1市5町が合併したことに伴い、それぞれの地域の文化団体を単位とし、市全域を総括する組織として設立されました。

この5年間、本協議会の目的である、加盟する文化団体及び個人の文化活動を支援し、相互の連携強化、親睦融和を図るとともに、本市の文化の振興に寄与するため、栃木市文化活動協議会交流会の開催や加盟団体への支援、広報紙の発行など文化振興活動を行ってまいりました。

本協議会も順調に発展し、文化活動の推進者としての活動が定着してきております。今後ますます研鑽し、本市の文化活動の発展に努めていきたいと考えております。

結びに、今後も本協議会の運営に対し、関係機関の皆様には、これまで以上のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます、5周年を迎えることばとさせていただきます。

藤岡文化団体連絡協議会

五周年を迎えて

1市5町の文化団体を総括する組織として、平成25年に栃木市文化活動協議会が結成され5年が過ぎました。

藤岡文化団体連絡協議会も、昭和55年に、芸術活動を通じて、団体相互の連絡協調と会員相互の親睦融和を図ることに、市民文化の発展に寄与することを目的に設立されました。

目的達成のため、各種専門部を置き、事業を実施してきましたが、ここ数年、会員の高齢化等により会員数が激減していることが、今後の課題となっておりま。

会員数の減少については、会員や指導者の高齢化等により会を維持できなくなり、やむをえず文化団体を脱退する事例が多く見受けられ、とてももったいないことだと思えます。

そのため、先を見据え、一定の年代の人々で構成されるのではなく、幅広い年齢層を取り込み、指導者の育成等を心がけて活動していきたいと考えております。

若い世代の方々は、人生百年の時代、後半の余裕の時間を有意義なものとするためにも、今から何か一つはじめてみてはいかががでしょうか。

石の上にも3年です。5年、10年続ければ何かみえてくるかもしれません。



活動交流会の様子

都賀文化協会

新たな歩み

都賀文化協会は、一昨年創立40周年を迎えましたが、これはもとより次の飛躍、展開への出発点でもあります。

昨年度、第4回の『マイスターのつどい&文化活動協議会交流会』が、都賀文化会館と保健センターを会場に開催されました。関係の多くの皆様の熱心なご尽力により、盛会裏に閉会できましたことをあらためて感謝いたします。

限られた時間と空間ですが、市内全域の方々が舞台、展示、講座3部門に、多様な素晴らしい芸と技を披露されました。他の地域の皆様の活動の様子を目の当たりにすることができ、感動とエネルギーをいただきました。また、合併前には考えられなかった地域間の交流が図られました。

折から、市文化活動協議会が5周年を迎え、一体化に向け新たな展開が期待されていますので、次のステップとして、全地域の分野別交流会等の実施を検討する必要があると考えます。

都賀文化協会では、今年定期総会に、初めて全員で「故郷」を熱唱し、新たな感激がありました。

昨夏の全国高校野球大会で、甲子園を湧かせた準優勝校(金足農業高校)のように、心を一つにして、力いっぱい「上を向いて歌おう」、そして「上を向いて歩こう」といきたいと思います。



文化祭の様子

西方文化協会

西方文化協会の活動

西方文化協会は、地域の皆さんの協力により昭和53年に設立されました。現在24の専門部、約240名の会員が生涯学習に取り組み、生き生きと活動しています。

活動事業は、年2回の会員研修、2日間開催する文化祭、広報紙の発行です。7月12日栃木市内視察見学、10月25日県外視察研修を開催しました。特に、合併後は、広域になった栃木市を知ろうと市内視察見学は多くの方の参加のもと実施しています。

西方文化祭は、優れた文化・芸術を身近に触れる機会とするため、毎年プロの演奏家による記念コンサートを開催。本年度は「陸上自衛隊第12音楽隊」をお招きし、栃木市全体に呼びかけた大きな企画として実施しました。

また、会員による作品展示部門とステージ部門の発表、西方文化祭の特徴として園児、小・中学校のステージ出演、作品展示が行われ、西方地域全体の文化交流の場としても大きな役割をもった文化祭となっています。

今後とも、「ふるさとの風土で育む人づくりまちづくり」を念頭に文化芸術の発展・振興にさらに努めてまいります。



文化祭の様子

岩舟文化協会

五周年を迎えて

栃木市文化活動協議会が、設立5周年を迎えました。岩舟文化協会は合併が最後でしたので、5年弱ですが、他の地域の文化協会等の助言を受けながら、文化の向上・発展のために力を合わせ進んでまいりました。

岩舟においては、昭和46年に文化協会が設立されました。多くの先人たちが、民俗芸能、文化サークル等の部会を作り、活発な活動をしてきました。現在52団体、約360名で構成され会員協力のもと、様々な事業を行っています。

一番大きな事業である文化祭は、今年57回を迎えました。会場作りから片付けまで会員の手で行われ、日ごろの練習・学習の成果の発表、作品展示等盛大に開催しました。

今後も、会員一同協力し合い、岩舟地域及び栃木市全域の文化振興のために、活動していきたいと考えております。



文化祭展示



文化祭郷土芸能

栃木文化団体連絡協議会

節目の年に大きな動きが

今年、私たちは栃木文団連にとっても看過できない大きな動きがありました。

それはご承知の通り(仮)文化芸術館・(仮)文学館の見直しの件です。さまざまな協議・紆余曲折を経て、ようやく計画が軌道に乗り3年後のオープンを目指すことになりました。

予定している事業のうち、くらのまち保育園がすでに完成し開園しています。(仮)地域交流センターの工事も始まりました。このように今、旧県庁堀周辺は大きな変貌をとげようとしています。

今後は、実質的な運用に関して検討を進めていくことが課題です。

こうした動きに文団連としてどう関わるのか? 何ができるのか? 『単に施設ができました、どうぞお使い下さい。』という、受け身の活動では時代に残り残されてしまうでしょう。今まで以上に積極的な関わりが求められると考えます。

また、次年度は栃木文団連の創立40周年にあたります。これまでの先人達の多大な尽力に感謝しつつ、次代に向けて

明確なメッセージを発信し、しっかりと活動を受け継いで、その使命を果たしていこうと考えています。



旧栃木町役場 (仮)文学館として整備予定 人気の観光スポットの一つ

大平文化協会

五周年を迎えて

大平文化協会は、45団体、約450名の会員で組織された文化団体で、来年度は創立40周年を迎えます。

主な活動は、ふれあいコンサート、文化祭の開催、各種団体の催事の協力、文化協会会員の交流等です。

ふれあいコンサートは、本格的な文化芸術を気軽に鑑賞していただく機会を創出するため開催しています。また、文化祭は、各団体が1年間練習した成果が発表され、市内の皆様に見ていただくことが何よりの楽しみ・励みになっております。

交流会は、年度末に各団体代表1名の参加をお願いし、各団体の「活動内容」の発表を行っています。他の団体の発表内容を、より良い文化活動・文化団体とするための参考としていただくため開催しております。

結びに、大平文化協会が魅力ある活動団体となりますように、今後とも活動を継続、地域内の皆様に興味をもっていただけるような文化協会にしていきたいと思っております。



大平文化祭 展示の様子